

今年度通常総会は、みなし総会とします

さんしょうの会

コロナ感染拡大に対応

5月16日開催をお知らせしていた2020年度通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、みなし総会（持ち回り決議）とします。法律では「正会員総会の決議の省略」（特定非営利活動促進法第14条

の9）を定めています。

具体的には、左の表の流れになります。理事会で提案事項を議決→議案書發送→正会員が同意書返信↓正会員の同意書を受け取り議決。正会員が集まることなく、書面で同意の意思表示をし、総会を行います。理事会は、5月10日頃發送します。

みなし総会の流れ

- ① 理事会で提案事項を議決します。
- ② 正会員全員に議案書（併せて同意書）を發送します。
- ③ 正会員は、同意書に意思表示をして返信します。
- ④ 正会員全員の同意書を受け取り、議決をします。



完成した作品

3年前から第2きらが月一回開いている「臨床美術の会」。4月23日は、臨床美術士の山下ちはるさんが用意してくれた、材料を使ってリフレッシュしました。マスキングテープをちぎり、思い思いの魚を制作しました。

いい華中 脳が活性化

臨床美術でリフレッシュ



作品を制作する津田さん

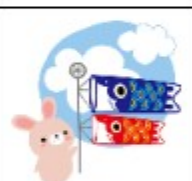
湧きあがる感性を表現

今から20年前に脳機能訓練として開発された



職員の手伝いで制作する宮見さん（左）

「臨床美術」。上手く描くとか、本物そっくりに描くというゴールを目指すのではなく、ついつい夢中になっていくうちに脳が活性化し、湧きあがってくる感性を表現します。



5月30日
「華中」で「感性の泉」を湧かす

自由で楽しい時間を大切にしています。
感謝の気持ちを伝える

今後の予定

- ◎ 拡大理事会 5/2（土）午前9時～12時 於）第2きらら
- ◎ みなし総会日程=5/10頃総会資料發送

指導する山下さんは、「皆さんのペースや思いを尊重しながら、描き方を伝えて制作します。美術を通して、『あなたに会えてうれしい』『素敵な作品をありがとう』という感謝の気持ちをお伝えできればと思います」といつも優しく応援してくれます。

マンキョウマリンはる小麻さん

3年目に入ったショートステイ「きららの家」



きららの家の個室でテレビを観ながら食事をする利用者

「きららの家」がオープンして、丸2年が経過しました。最初は月に一泊の利用の方が多かったの

「きららの家」は「ホテル」「お風呂」 月の旨多利用

ですが、一泊、三泊、と利用希望が増えてきて、現在では月の延べ利用者数が百名前後となりました。「きららの家」を「ホテル」や「お風呂」と表現し、家とは違う環境を楽しんでいる利用者も居ます。

時間や場所が自由

「きららの家」の特徴の一つに、厨房が無く、弁当を各自で用意して食べているというのがあります。大きな施設ですと、厨房で食事を作り、決まった時間に決まった場所で皆で食事をすることが多いですが、「きららの家」では、時間や場

職員紹介 櫻井良司さん



きららハウスに勤めはじめて、7ヶ月が過ぎました。はじめは戸惑うことばかりで、何をすればよいのか。これで良いのかと、自問自答の毎日でしたが、心が広く優しいスタッフのみなさん方と、「さくらいさん！さくらいさん！」と呼んでくれる利用者の皆さんに助けられて、楽しい毎日を送ることができています。

まだまだ悩みながら試行錯誤を繰り返していますが今回、この原稿依頼をいただいて、改めて振り返り、初心に帰ることができました。これからも益々皆さんのお役に立てるように、日々努力してまいりますのでよろしくお願ひします。

櫻井良司さんは、さんしょうの会の学童保育事業に献身的に活躍されています。そして今、きららハウスで働いています。手先が器用で、あらゆる物の修繕も素早くやってくれます。

所の制限がありません。入浴が一人づつで、入浴後に夕食を食べる人が多いので、結果的に一人づつ食べる事が多くなります。その為、意図した訳ではありませんが、現在問題になっている「三密」のうちの二つ、「密接」「密集」を自然と避ける事が出来ていました。残りの一つの「密閉」は、定時に換気する事で対応していきます。

安心して対応

消毒にはパン工房でも使っている、口に入っても安全な食品添加物である塩素系消毒液「ウイルスパス」を使用しています。大変な時期ではありますが、安心して利用して頂けるよう対応して参ります。3年目の「きららの家」を、これからもよろしくお願ひします。
(今井田 歩記)

新型コロナウイルス さんしょうの会の基本的立場

NP Oさんしょうの会は、障がいの業所が事業を継続していることは、利用者家族に必要から、感染予防に 対して、「困ったときは、 努力、利用者家族の協力を最大限求め るなどしながら、職員たち の不安を少しでも解消でき ればと思います。(今回の 対応は、県の「緊急事態 措置」が解除されるまで)

春休み学童保育に4組9人が参加



パン工房でピザパンを作る親子ら

ピザパンを作りました

高山市から委託を受けた、春休み親子体験教室が3月28日、きららハウスで行われました。4組9人の親子が参加。ピザパンを一人2枚作りました。発酵させたパン生地を丸め、好きな食材をのせ、焼きあげました。焼きあがるとすぐに待ち切れず に食べる子もいました。最後に、焼きあがったピザパンの香りと食感を楽し みながらみんなで食べました。



焼きあがったピザパンを食べる参加者

